

日本共産党船橋市議団とともに

岩井 友子市議 金沢 和子市議
坂井 洋介市議 佐藤 重雄市議
関根 和子市議 中沢 学 市議
松崎 佐智市議 渡辺 優子市議
市議団控室 ☎047-436-3030

日本共産党
県議会議員

丸山慎一 がんばり通信

発行

日本共産党西部地区委員会
〒274-0805船橋市二和東6-41-20
☎047-440-5240 FAX449-7004

右のQRコードでブログを見ることができます。HPは検索。



丸山 慎一

検索

No.396 2018年3月25日 (月2回発行)

marusin@mbn.nifty.com

〔総務省「統計でみる都道府県のすがた2018」より〕

項目	千葉県	順位	備考
財政力指数	0.777	4	
住民税	123,700円	5	人口1人当たり
老人福祉費	153,900円	47	65歳以上1人当たり
保育所等数	297.9カ所	46	5歳以下人口10万人当
児童福祉費	385,900円	45	17歳以下1人当たり
医師数	182.6人	45	人口10万人当たり
看護師数	701.6人	45	人口10万人当たり
教育費	118,100円	45	人口1人当たり

(※「順位」は47都道府県での順位)

千葉県は、「財政力指数」をみると都道府県の中で上から4番目。東京都、愛知県、神奈川県に次いでいて、いまや大阪府を上回っています。一方で、人口一人当たりの「教育費」を比べてみると都道府県で45番目、「医師数」と「看護師数」も45番目、「保育所等数」は46番目、「老人福祉費」にいたっては47番目で全国最下位となっています(表参照)。全国で一番、老人福祉費の少ない県、これが千葉県の姿です。ここで比べているのは65歳以上の人口一人当たりの「老人福祉費」の額で、千葉県は15万3900円。トップは鹿児島県の25万4900円で、千葉県の1・7倍近

くになります。総務省が2月16日、「統計でみる都道府県のすがた2018」を公表しました。これを見ると、千葉県は、財政力では全国4位なのに、医療や福祉は最下位クラスになっています。総務省では毎年2月、「統計でみる都道府県のすがた」を公表しています。今年掲載しているのは自然、経済、文化、家計などあらゆる分野にかかわる438項目。それぞれについて都道府県ごとに比較した順位を明らかにしています。中でも注目されるのは、都道府県ごとの財政力や医療・福祉・教育など暮らしにかかわる指標です。千葉県は、「財政力指数」をみると都道府県の中で上から4番目。東京都、愛知県、神奈川県に次いでいて、いまや大阪府を上回っています。一方で、人口一人当たりの「教育費」を比べてみると都道府県で45番目、「医師数」と「看護師数」も45番目、「保育所等数」は46番目、「老人福祉費」にいたっては47番目で全国最下位となっています(表参照)。全国で一番、老人福祉費の少ない県、これが千葉県の姿です。ここで比べているのは65歳以上の人口一人当たりの「老人福祉費」の額で、千葉県は15万3900円。トップは鹿児島県の25万4900円で、千葉県の1・7倍近

くになります。総務省が2月16日、「統計でみる都道府県のすがた2018」を公表しました。これを見ると、千葉県は、財政力では全国4位なのに、医療や福祉は最下位クラスになっています。

総務省の統計でみる千葉県の姿 財政力は全国4位 老人福祉費は全国最下位

「無駄な開発」は中止して転換を

大きな財政力がありながら、医療や福祉、教育が最下位クラスになってしまっているのは、不要不急の大規模開発に税金を注いでいることが大きな要因となっています。「コンテナ船が、将来、いまの3倍、4倍入港してくる」と根拠もない目標をつくり、それに合せて港の巨大化を進める「千葉港長期構想」、人口が減るのに「将来、水道使用量は増える」と主張して供給能力を拡大する水道局の「長期施設整備方針」など、無駄な開発は見直すべきです。

重税反対市民集会開く

「3・13重税反対全国統一行動船橋市民集会」が開かれました。もうかっている大企業には減税し、苦しい庶民に大増税といういまの税の在り方を正し、納税者の権利を守るために、毎年、確定申告が行われるこの時期に全国いっせいに取り組みます。



集会では、参加団体がそれぞれ活動を報告。実行委員会からは、「私たちの税金は私たちの暮らしに〜あるべき税制を考える〜」との報告がありました。その中で「税は、福祉サービスを受けるから払うなどという対価ではない。納税者には権利があり、自分で所得などを計算して自主的に申告することが基本。税務署が強制的に取り立てるのは違法行為」と強調されました。

集会終了後は船橋税務署まで約30分間のデモ行進を行い、沿道の市民にアピールしました。



船橋市行田にある「県立行田公園」は、樹木が多く、池や庭園ももうぐら、散歩やジョギングなどが楽しめます。サイクリングロードも整備されています。しかし、トイレが外から見えるような古い作りになっていたり、ベンチの一部が壊れているなど、改修が必要などところも少なくありません。県では10年間かけて行田団地の改修を行う計画を立て、現在、工事が進んでいます。

丸山慎一県議

活動日誌

3・5▼共産党教員支部の会議／共産党行田支部会議に参加
3・6▼県議会予算委員会を傍聴／船橋駅北口で憲法生かす3000万人署名と宣伝



3・7▼生活と健康を守る会世話人会
3・8▼畑野君枝衆院議員・斉藤和子前衆院議員・浅野史子党県副委員長・中沢学市議などと防衛省から開き取り
3・9▼DNA研究所について聞き取り
3・10▼地域を訪問
3・11▼脱原発船橋のキャンドルウォーク



3・12▼県議会商工労働企業常任委員会質疑
3・13▼重税反対船橋市民集会で挨拶／西船橋駅北口で宣伝／安倍政権退陣緊急宣伝
3・14▼共産党市場支部会議／三番瀬公園違法支出判決を活かす会／政権退陣連続宣伝
3・15▼議会運営委員会／県議会本会議／選挙で変える千葉4区船橋市民の会の宣伝／共産党私学支部の会議
3・16▼行田公園調査
3・17▼岩井友子市議と法典後援会総会報告
3・18▼松崎佐智市議と地域を訪問／安倍政権退陣スタンディング